



1歳児いす組の遊び「こんなことしてあそんだよ！」

2020年12月

子どもにとってあそびは、食べたり飲んだり眠ったりといった、人間の生命を維持する行為と同じように大切です。子どもの発達にとって、遊びはなくてはならないもの。子どもは遊ぶことによって成長します。

あかちゃんをおんぶしながらお祝い！
いそがしい～



いらっしゃいませー

ほうちょうでトントン

そうじてるよ

スカート履いたよ！



再現遊び



もしもし～

おなかみせてください

だいこんいっぽんぬいてきて～♪

みだて、つもい遊びをすることで、イメージする力が育ち、遊びがどんどん豊かになっていきます。この何かに見立てる、何かになったつもい、何かをしたつもい、を繰り返して楽しむことで、想像力が豊かになっていきます。日頃目にしている身近な物、例えばプリンやゼリーのカップ・トイレトペーパーやラップの芯・空き箱・ハンカチなどがあると、よいイメージを膨らませやすく遊びが広がります。



まぜまぜ～

おねつあるかなー？



おふうきもちいいよ



あかちゃんねんねしてる



おようぶくきょうね～



しょうとくします！





線路つなげたよ～



構造遊び



ガタンゴトン♪



おふろつくれたよ～



構成遊びでは「根気・集中力・数、図形への理解力、予測する力が育まれます。パーツがバラバラの状態でもまったく形を成していないものを少しずつ組み立てることで、形のあるものへと作り上げます。作っている最中に、自分が思い描いているものがうまく出来ないこともあります。修正しながら自分が作りたいものを試行錯誤し、形作っていくことで達成感を得ることができます。そしてまた新しいものを作ろうという向上心につながります。



こんなにたかにつめるよ！



そ～っと…



これは、おうち！



みて！ヘリコプター！



みてみて～
おうちつくれたよ